

「つなぐ」言葉と「隔てる」言葉 ウクライナ、フクシマ、ジャポニズムをめぐって



ウクライナの詩人、オスタップ・スリヴィンスキーさんが刊行した『戦争語彙集』は、戦争が日常的语言の意味を大きく変えてしまったことを伝えています。本シンポジウムでは、その日本語訳を手がけたロバート キャンベルさんをお招きし、ウクライナ、フクシマ、ジャポニズムという3つの言葉を手がかりとしながら、言葉を通して他者や異文化を理解し、つながることの可能性と難しさについて考えます。さらに、ローカルな社会課題にグローバルな視点からアプローチする「国際共創」の可能性についても考えていきます。

プロフィール

ロバート キャンベル

日本文学研究者
早稲田大学特命教授
早稲田大学国際文学館
(村上春樹ライブラリー) 顧問
東京大学名誉教授
ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。
主な編著に
『よむうつわ』(淡交社)、
『日本古典と感染症』(角川ソフィア文庫、編)、
『井上陽水英訳詞集』(講談社)、
『東京百年物語』(岩波文庫) 等がある。

日時: 2023/11/27(月)

15:00~17:20 (開場 14:30~)

場所: 成蹊大学 4号館ホール ● 参加無料 ● 事前申込不要

タイムテーブル (敬称略)

■ 15:00 ~

開会ご挨拶 成蹊学園 学園長 江川 雅子
成蹊大学 学長 森 雄一

■ 15:05 ~ 15:45

【第一部】 ロバート キャンベル氏による講演

『武器にもシェルターにもなる言葉の「今」』

■ 15:50 ~ 17:20

【第二部】 パネルディスカッション



2026年4月

「国際共創学部 (仮称)」

設置構想中※

<パネリスト>

■ ロバート キャンベル

■ 寺本 敬子 成蹊大学文学部准教授

■ 榎原 彩 成蹊大学文学部

芸術文化行政コース客員講師



<モデレーター>

見城 武秀

成蹊大学 文学部長、文学部教授



<パネリスト> プロフィール

ロバート キャンベル Robert Campbell



日本文学研究者
早稲田大学特命教授
早稲田大学国際文学館
(村上春樹ライブラリー) 顧問
東京大学名誉教授

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。

【主な出演番組】

「Face to Face」(NHK 国際放送) MC
「虹クロ」(NHK) メンター
「バラいろダンディ」(TOKYO MX) コメンテーター 他

【主な編著】

『よむうつわ 上・下』(淡交社)
『英語で楽しむ福音館の絵本 II』(福音館書店) ロバート キャンベル訳
『日本古典と感染症』(角川ソフィア文庫)
『井上陽水英訳詞集』(講談社)
『東京百年物語』(岩波文庫) 他

寺本 敬子 Noriko Teramoto



成蹊大学文学部准教授
一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士
後期課程修了。博士(社会学)
パリ第一大学(パンテオン・ソルボンヌ)歴史学科
博士後期課程修了。Ph.D(Histoire)
専門は、フランス近代史。19世紀後半のフランスを
中心に欧米諸国で広がった「ジャポニスム」という
文化現象に注目し、パリ万国博覧会を通じた日仏交
流史を研究している。

槇原 彩 Saya Makihara



成蹊大学文学部芸術文化行政コース客員講師
東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻音楽文化学
研究領域 芸術環境創造修了。博士(学術)。
専門は、音楽文化学や芸術環境、文化政策、アート
マネジメント。研究と現場を往還しながら、社会と
芸術をつなぐ役割となるべく試行錯誤の日々。

<モデレーター>

見城 武秀 Takehide Kenjo



成蹊大学文学部長、成蹊大学文学部教授
東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。
同大学大学院社会学研究科博士課程退学。社会学修士。
専門は、コミュニケーション論、メディア論。
「メディア・リテラシー」という概念に注目しながら
メディアと社会とが相互に影響をあたえつつ変容して
いく過程について研究している。

NEWS!

2026年4月開設に向け

「国際共創学部(仮称)」

設置構想中※

※計画中のものであり、今後変更になる場合があります。

成蹊大学

経済学部 経営学部 法学部 文学部 理工学部 大学院

成蹊大学は、1912年に創立された成蹊実務学校を源流とし、後に設立された七年制旧制高等学校が戦後の学制改革で成蹊大学となりました。個性を尊重し、一人ひとりと向き合って教育を行った創立者中村春二の教育理念と、旧制高等学校のリベラルな学風を受け継ぎ、現在では、5学部と大学院を擁する総合大学となっています。緑溢れる東京・吉祥寺のキャンパスでは文系・理系すべての学部の学生がともに4年間を過ごします。少人数による個性尊重の人間教育の伝統を受け継ぎ、新しい時代に必要な幅広い教養と高い専門性を持つ人材を育成しています。

さらに、2026年4月には、「国際共創学部(仮称)」の設置を構想しています。この新学部では、持続可能な地球・社会の実現に向けて、日本と世界の「文化」、「地域」、「環境」等について理論と実践の両面から学び、人類が共通に抱える諸課題及び地域社会が抱える諸課題について、グローバルとローカルの両視点から探究し、文系・理系の複眼思考を持って社会課題の解決に他者と協働して果敢に挑戦する人材を育成していきます。

成蹊大学公式サイト

